

たくさんのエールに 感謝。

令和5年度 九州産業大学テーマ募金 活動報告書



学校法人中村産業学園



九州産業大学

KIU KYUSHU SANGYO UNIVERSITY

九州産業大学造形短期大学部
ZOKEI KYUSHU SANGYO UNIVERSITY, ZOKEI JUNIOR COLLEGE OF ART AND DESIGN

個人の皆さま限定

寄付者座席芳名プレート
設置中！

0100

九産大 花子

2023 KIU ZOKEI



募 金 実 績 報 告

募集期間：令和5(2023)年4月1日～令和6(2024)年3月31日

募 金 総 額：170,181,920円

本学園の募金事業にご支援を賜りました多くの皆さまに厚く御礼申し上げます。

■ 募金実績額の内訳

種 別 等		金 額
九州産業大学 テーマ募金※	卒業生関係	16,239,663円
	保護者関係	61,319,376円
	教職員関係	5,837,209円
	法人関係	43,131,107円
	その他一般	1,002,751円
	小 計	127,530,106円
その他募金	奨学寄付金	42,651,814円
総 計		170,181,920円

No.	分野	令和5年度 募金テーマ	金 額
1	教育	文理芸が融合した多様な教育プログラムの推進	7,707,400円
2	教育	グローバル人材育成プログラムの推進	2,900,000円
3	研究	特色ある研究の推進	3,368,000円
4	研究	多様な大学院生の獲得	1,260,000円
5	国際交流	海外留学プログラムの推進	3,171,000円
6	課外活動	サークル活動の活性化	12,709,000円
7	就職	就職活動支援プログラムの推進	3,857,000円
8	産学連携	産学連携のさらなる推進	3,758,000円
9	ダイバーシティ	ダイバーシティの推進	1,751,000円
10	社会貢献	SDGs等、地域社会の課題解決プロジェクトの推進	4,629,961円
11	学生生活	奨学金制度による学生支援の充実	12,442,000円
12	個別指定	寄付者による個別指定寄付	62,661,959円
13	指定なし	教育研究全般に充当	7,314,786円
総 計			127,530,106円

※九産大自動販売機利用募金及び九産大古本募金、現物寄付を含む

※集計方法：申込日を基準とする

ご 挨拶

九州産業大学テーマ募金へのご支援ありがとうございました

皆さまには、平素より本学園の教育・研究活動に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本実績報告書は、令和5年度九州産業大学テーマ募金へのご支援に対する成果や学生の声を存分に取り入れ、ご支援いただいております多くの皆さまに「感謝」の気持ちをお届けできるよう、作成いたしました。是非ご一読いただければ幸いです。

本学園は、建学の理想、建学の理念をもとに「文理芸融合のグローバル総合大学へ」のスローガンを掲げ、教育、研究等8分野での目指すべき目標および方向性を明確にし、「KSU VISION 2030」として様々な取り組みを行っています。

令和6年度も使途指定型の募金事業を継続してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。なお、皆さまからのご支援は、対象テーマ事業を推進するための資金として大切に活用させていただきます。

厳しい経済環境の折り、大変恐縮ではございますが、本募金の趣旨をご理解いただき、教育・研究活動並びに学生支援の拡充のため、倍旧のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



学校法人中村産業学園
理事長

津上 賢治



九州産業大学
学長

北島 己佐吉



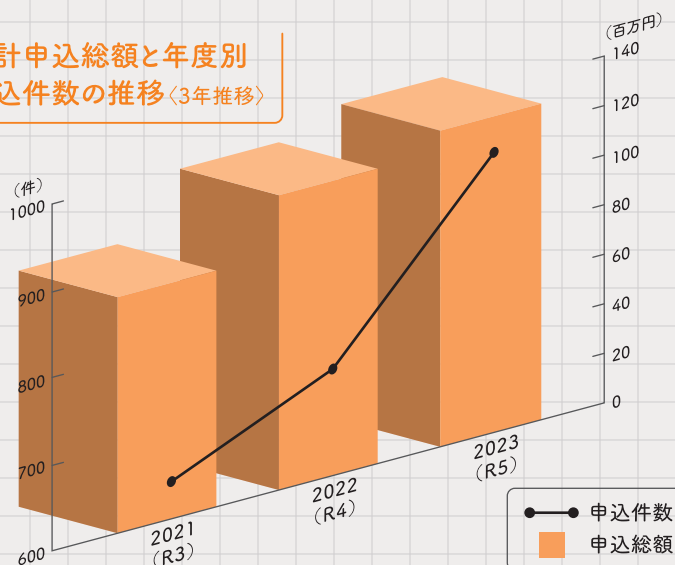
九州産業大学
造形短期大学部学長

小田部 黄太

九州産業大学テーマ募金（件数別）

本学園創立60周年を機に創設した「九州産業大学テーマ募金」は、本学園の特色ある教育研究プログラムや学生支援の更なる充実を図るため、各分野への着実な支援に取り組んでおり、継続的な募金活動を実施しています。

累計申込総額と年度別申込件数の推移（3年推移）



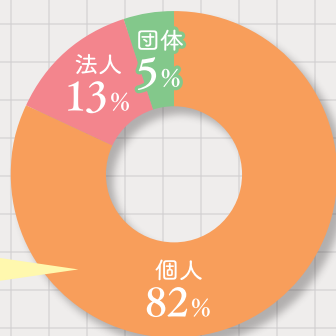
寄付者の傾向（令和5年度）

個人寄付者率



82%

多くの個人の方にご支援いただいています

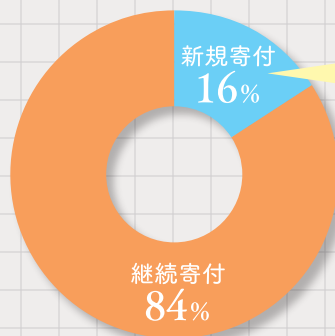


新規寄付者率

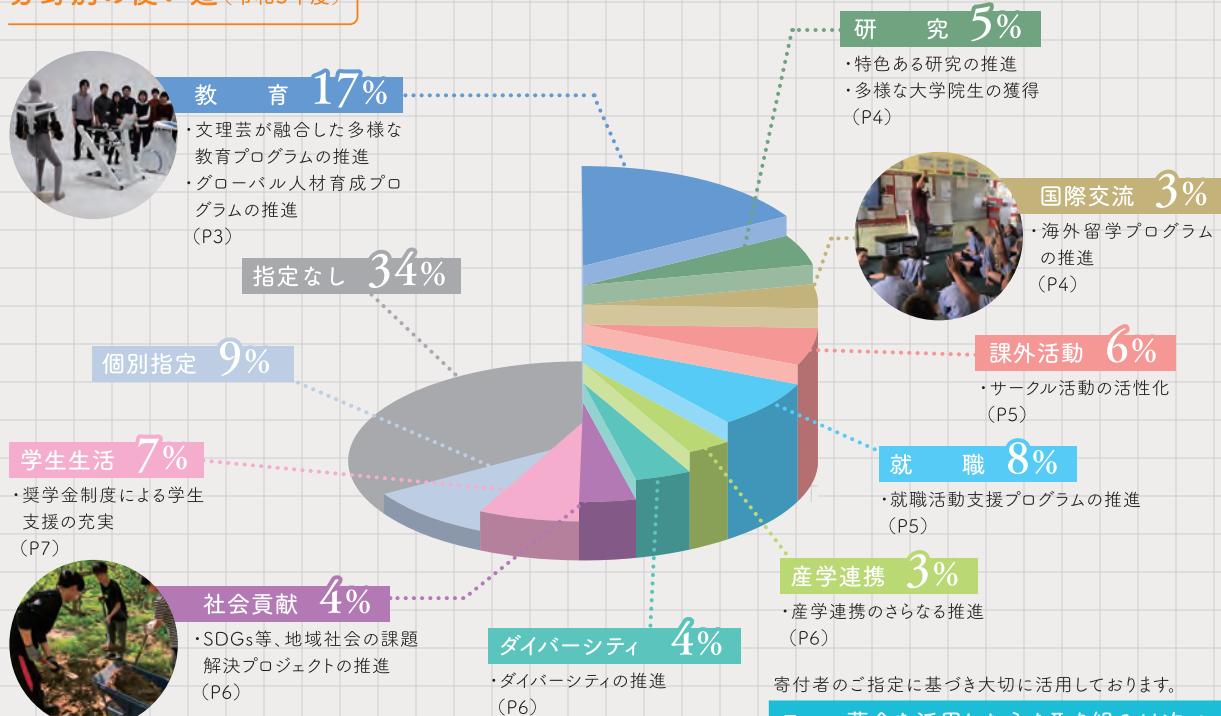


16%

新規のご支援が増加しています



分野別の使い道（令和5年度）



寄付者のご指定に基づき大切に活用しております。

テーマ募金を活用した主な取り組みは次ページから

テーマ募金を活用した主な取り組み

KSU student support project

皆さまから賜りましたご支援は、それぞれの募金テーマに関する活動支援に活用させていただきました。

その活動の一部を紹介いたします。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

Theme

01

教育

文理芸が融合した多様な教育プログラムの推進

地域や企業、行政と連携してプロジェクトを立ち上げ、「実践力・共創力・統率力」を養うことを目的に、産学官連携による商品開発やプロモーション、技術開発、イベント開催など約106のプロジェクトを展開しています。

ICTを活用した地域公共交通の運行管理支援

地域公共交通のDX（デジタルトランスフォーメーション）の活動として、利用動向などを把握するためのデータ収集や分析をするシステムを開発するプロジェクト



須恵町や宗像市との連携において、車内案内表示システムの改良や主要停留所付近に設置するデジタルサイネージ（ディスプレイを使った情報発信）機能などを開発しました。

学生 interview

このプロジェクトに参加し、乗換案内アプリで使われている標準的なバス情報フォーマットを自分たちで実際に作成したことで、普段使っている乗換案内アプリの内部を深く理解することができました。初めて知る内容ばかりで大変でしたが、チームで作り上げることができ、とても貴重な経験になりました。



船津 雅貴 さん
理工学部（香住丘高校）

ランドセル+αプロジェクト

福岡市のNPO法人が取り組む中古ランドセルの譲渡活動「ランドセルバンク」に、本学造形短期大学の学生が様々な取り組みを+αし、中古ランドセルを次の使い手に繋ぐプロジェクト

取り組みを通して中古ランドセルに対するマインドチェンジを促し、必要な子どもにランドセルを届けることを目的に活動しています。

令和5年度は子どもたちがゲームを楽しみながら、その場でランドセルを持ち帰ることができる譲渡会を開催し、2日間で348個のランドセルを譲渡、新たに659個の寄付を受け付けました。



学生 interview

実際に子どもたちがランドセルを背負って遊ぶことで愛着が湧き、持ち帰ってもらえると考え、交通ルールを学ぶゲームや就学をイメージしたゲーム等様々な企画を行いました。スケジュール調整や各所との連携などリーダーとしてまとめる経験ができ、成長できたと感じています。

石田 賀琳 さん 造形短期大学部（直方高校）



Theme

02

教育

グローバル人材育成プログラムの推進

企業や社会のグローバル化に対応できる幅広い視野を持ち、国際社会の最前線で活躍する学生の育成を目的とした特別教育プログラム（GLP）です。

様々な世界の現場を知る国際業務実務家の直接講義や、海外インターンシップ等他大学にはない本学園独自の授業を展開しています。

学生 interview

タイで1か月間、日系企業の人材派遣会社で企業実習を行い、求職者と企業のマッチングや「バンコク日本博」というイベントの準備・運営を行いました。日本と同じアジアの国から俯瞰して日本の現状を知れたことは、私の今後のキャリア形成を大きく左右する経験になり、自分自身の成長を実感できました。



河野 優香 さん
国際文化学部（九州高校）

学生 interview

GLPでの2年間は、国際問題への知識やグローバル人材としての在り方について学ぶことができました。特に、国連ハビタットやグローバル企業の方々に講義をしていただいた際に、幅広い分野で社会貢献できることを知り、選択肢が広がりました。卒業後は、航空系商社に就職し、新興国の空港開発に従事したいです。そして、グローバル人材として成長できた時には、卒業生としてGLPや母校に貢献したいと考えています。



神代 紘希 さん 経済学部（福岡高校）

特色ある研究の推進

「KSU VISION DAY文×理×芸＝展」の開催

文系・理工系・芸術系の学部学科の垣根を超え、「産学一如」を建学の理想に進化し続ける本学園ならではの研究成果を紹介する展示会で、特色あるプロジェクト型教育やボランティア活動など129のブースを紹介しました。ここでは、本学園の研究者が有するシーズや研究成果を一挙に紹介し、企業の技術課題などのニーズ発掘や事業化につなげ、地域社会の発展や課題解決に貢献します。

また、研究者による成果発表セミナーや、九州経済調査協会による特別講演等を実施し、2日間で2,000人を超える来場がありました。

アーカイブ動画
配信中



Pick UP

博物館浴に関するメンタルヘルス研究

ストレス社会に生きる現代人に向け、博物館の持つ癒しやリフレッシュ効果を血圧や心理測定で数値化し、健康増進や疾病予防に活用する研究
 今後は、博物館の種類や展示の内容で効果にどのような変化が生じるのか検証を重ね、体調や気分に合わせて博物館をマッチングするアプリの開発を行う予定です。

多様な大学院生の獲得

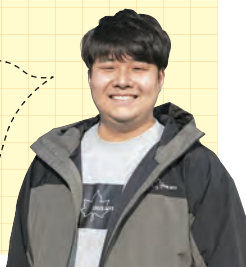
文系・理工系・芸術系の5つの研究科があり、高度で知的な素養のある人材の育成、研究者として自立し社会で活躍できる人材の養成に取り組んでいます。また、大学院生の学会における活動を奨励し、学術研究の促進と経済的負担軽減のため、学会や研究発表、作品展示等を行う場合、交通費や宿泊費および参加費を支援しています。

学生 interview

研究内容について教えてください！

海洋ゴミ問題について関心があり、海洋ゴミ対策について、行政がどのように取り組み、どのような成果を上げているのか等を調査していく研究に取り組んでいます。

野田 悠太 さん 経済・ビジネス研究科



学生 interview

研究内容について教えてください！

社会問題をデザインで解決するソーシャルデザインの領域で、インフォグラフィックを活用したモーショングラフィックスで、わかりやすく発信する研究に取り組んでいます。

紀野 はるか さん 芸術研究科



海外留学プログラムの推進

海外の協定校に学生を派遣する「派遣留学」、専門分野の学習や異文化を学ぶための個人留学を支援する「個人留学支援制度」、オンラインで海外の学生と共同学習を行う「KSU-COIL型教育」、授業の一環で各学部の特徴を活かした「海外研修」等、グローバルな視点と感性を養う海外経験プログラムを展開しています。

令和5年度海外渡航者数

イギリス 17名	タイ 26名	台湾 27名	オーストラリア 43名
オーストリア 21名	ベトナム 6名	フィリピン 46名	カナダ 7名
フランス 1名	韓国 142名	ニュージーランド 16名	アメリカ 42名

学生 interview

渡航先：韓国（留学期間：令和5年9月～12月）

韓国での就職を目標にしているため、未来の自分に活かせると思い留学しようと決意！
 慣れない環境の中、さらに予習復習を欠かさないといけない状況で大変でしたが、そのおかげで日々の学習習慣が身に付きました。帰国後の今も日々韓国語の勉強に励んでいます。

財部 光樹 さん 国際文化学部（福岡舞鶴高校）



サークル活動の活性化

令和5年度サークル活動実績

全国大会出場16サークル

- ・硬式野球部・サッカー部・空手道部・準硬式野球部・ハンドボール部【女子】
- ・水泳部（フィンスイミング）・山岳部（スポーツクライミング）
- ・バレーボール部【男子・女子】・バスケットボール部【男子・女子】
- ・ソフトテニス部・卓球部・アーチェリー部・弓道部・剣道部



学生 interview

創部5か月で全国大会出場へ!!

2部リーグから1部リーグに昇格、更に全国大会に出場することができました。キャプテンとしてチームをまとめることの難しさ、加えて教員免許取得やアルバイト等めまぐるしい毎日ですが、充実した日々を送っています。コミュニケーション能力や計画性、組織をまとめる能力も身に付き、個人としてもチームとしても成長できました。次の目標は全国ベスト16です。これからもたくさんの応援よろしくお願いします。

猪口 歩里 さん 人間科学部(明光学園高校)



スポーツの歩みを紹介する「ヘリテージコーナー」の設置

本学園が創立した1960年から現在に至るまで、歴代アスリートが残してきた数々の功績を一挙に紹介するヘリテージコーナーが「大楠アリーナ2020」館内に誕生しました。



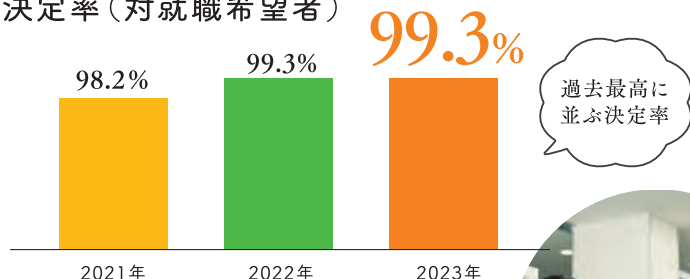
サークル活動などで卒業生や学生が残した成績と競技写真からなるウォールグラフィックのほか、世界大会での優勝トロフィーや実際に使用した競技ユニフォームなどを展示しています。



就職活動支援プログラムの推進

徹底した個別面談による支援等に加え、なりたい「理想のミライ」に向けて、将来のキャリア形成に活かすことのできる幅広い資格取得講座等を開講しています。

就職決定率（対就職希望者）



公務員合格者



2021年



2023年

合格者
約2倍増

資格取得講座受講学生インタビュー

建設業に携わる仕事をするにあたって、宅建の資格を取得することで不動産関係の知識が身に付き、プラスになると考えました。講座では、過去問題などで分からない点があればすぐに質問することができ、理解できるまで教えてくださいましたところが魅力です。また、スケジュール管理においては、大学の勉強や課題を優先させ、その中で宅建の時間を一日最低3時間以上確保するよう目標を立てて計画的に勉強をしました。この資格を活かし、これからはマンション管理士や管理業務主任者などの資格にも挑戦していきたいです。

宅建物取引士取得
中尾 誠 さん
建築都市工学部(長崎工業高校)



キャリアアップ支援奨励金制度

在学期間中に本学園が奨励する各種資格（国家・公的・民間）を取得した学生に奨励金を給付する制度

産学連携のさらなる推進

アート&デザイン研究センター(CADS)の設置

アート&デザインを中核とした知の基盤と共創の場を形成することにより、文理芸融合の創造的な取り組みを推進し、地域やグローバル社会における文化芸術の振興に寄与することを目的に設置しました。

ソーシャル・ビジネスプラン・コンテスト

社会起業家の育成を目的に「ソーシャル・ビジネスプラン・コンテスト」を株式会社日本政策金融公庫と協力開催し、学生6チームが多様なビジネスプランを発表しました。

最優秀賞 『エンタメ×食育体験から楽しさを知ろう!』

小学生や幼児に“食”に対する知識を持ってもらおうと、絵本に登場する料理を農業体験・調理実習を通して再現することで、楽しく食育を学ぶというビジネスプランを提案しました。



最優秀賞受賞の様子

ダイバーシティの推進

多様なニーズに関する理解増進に向けた勉強会や、ダイバーシティに関する取り組みの構築、発信を行っています。

パラスポーツ競技大会の開催

課外活動支援の一環として、コミュニケーション能力や課題解決能力等の向上、相手視点の理解促進、多様性を尊重したインクルーシブ教育の重要性を認識することを目的に開催しました。

パラアスリートおよび指導者を招致し、車いすバスケットボール、パラバドミントン、ボッチャ、ゴールボールの4競技を行いました。



ダイバーシティ×学生勉強会の開催(全3回)

- ・スポーツを通じたジェンダー平等、多様なセクシュアリティの理解
- ・女性と健康-リプロダクティブ・ヘルス/ライツの推進に向けて
- ・栄養とバランスの整え方ー今日から使える食の知識ー

SDGs等、地域社会の課題解決プロジェクトの推進

地域に向けた知の発信や、地域との交流イベント等を実施しています。

地域の図書館との連携

絵本と図鑑の親子ライブラリービブリオリキッズとの連携企画

- ・『著名人・芸能人の絵本展』の開催 (来場者数 750人超え)
個性豊かな著名人や芸能人が出版する絵本約160冊を厳選し、図書館に展示しました。

- ・『絵本の読み聞かせと工作ワークショップ』の開催

地域の子どもたちに、ココロの健康を育む「絵本の魅力」を伝えることを目的とし、手遊びを交えた絵本の読み聞かせや、段ボールや紙を材料として絵本などの作品を作成しました。

イベント・ワークショップ動画はコチラ



市民参加型運動会「産九スポーツ2023」の開催

市民の交流促進や親子でスポーツを楽しむアフターコロナの市民参加型運動会として学生が企画・運営を行いました。

「宇宙」をテーマとし、一般的な運動会競技に宇宙を連想するキーワードを盛り込みアレンジし、3種類の惑星(ボール)をブラックホール(フラフープ)に通す早さを競う競技など4つの種目を実施しました。

奨学金制度による学生支援の充実

返済不要な本学園独自の奨学制度により、勉学意欲が旺盛でありながら経済的な理由により修学が困難な学生や、学力優秀学生を支援しています。

学生 interview

奨学金をいただき、留学費用にあてることができました。奨学金という存在があったからこそ留学を決意でき、留学できたことで行動力が身に付き自分自身の成長を実感できています。

井上 日菜子 さん
地域共創学部(福岡中央高校)



学生 interview

小学5年生からの夢であるスクールカウンセラーになるべく、奨学金をいただきながら、公認心理士の国家資格取得に向けて日々努力しています。大変だと感じるときもありますが、将来の思い描いている夢があるため、毎日が楽しいです！

亀山 ひかる さん 人間科学部(勇志国際高校)



その他の支援(個別指定寄付)

食生活支援

後援会や同窓会と連携し、コロナ禍での学生支援として、令和2年5月から開始した「学生食堂テイクアウト商品に対する購入補助」を令和5年度も継続して行いました。



令和5年4月～5月、お弁当やパン、コーヒーなど学内食堂のテイクアウト商品を3割引(上限100円)で販売するキャンペーン

約35,000食

令和5年9月～11月、各食堂1日50食限定で、350円の朝食テイクアウト商品を100円で販売するキャンペーン

約2,800食

また、学生食堂「クラブハウス」を運営する有限会社クラブハウスこばやし様より、食支援として毎月お米やパスタ、レトルト食品等をご寄付いただき、一人暮らしの学生へ配付しました。

指定なし

本学園の教育・研究活動全般に活用させていただきました。

＼ Thank you for your special kindness / 寄付者の皆さまからのMESSAGE



本学園にご寄付いただいた皆さまから、数多くの温かいメッセージをいただいております。その一部をご紹介します。

大学院も含めて6年間お世話になりました。50代になり、後輩たちの活躍が私にとっても励みとを感じるようになりました。微力ですが、応援させていただきます。

【卒業生】酒井織恵 様

文理芸の学生が集うキャンパスは個性と魅力があり、これからの社会に必要な大学です。常にポジティブに自分の興味のある分野にチャレンジしてください。応援しています。

【教職員】

私の礎は九州産業大学で過ごした4年間にあり、今も私の財産です。これまで母校を支えていただいている教職員の皆さま、諸先輩の皆さまに感謝するとともに、次の100年の人材育成に向けた母校の一層の発展を祈念しております。

【卒業生】鶴石文飛 様

本年4月娘が貴学園に入学し3か月が経過しようとしています。毎日楽しく有意義な学園生活を過ごしており、親としてとても嬉しく思っています。寄付が学園のために少しでもお役に立てば幸いです。

【保護者】

本学園が社会貢献できる人材の育成に励まれることを期待しています！創立70周年に向けてさらなる発展をお祈りいたします。

【卒業生】猿渡一義 様

寄付者芳名帳

「九州産業大学テーマ募金」寄付者 ご芳名

[五十音順]

法人

アブライド株式会社 様
株式会社石原和幸デザイン研究所 様
岩崎建設株式会社 様
株式会社梅月 様
SCSK株式会社 様
大神設計株式会社 様
株式会社カキウチ 様
株式会社学生情報センター 様
株式会社唐津カーセンター 様
株式会社九産大サービスセンター 様
一般財団法人九州環境管理協会 様
九州グラウンド株式会社 様
学校法人九州産業工学園 様
株式会社九州ジオテック 様
九州電力株式会社 様
株式会社九州東通 様
株式会社九州博報堂 様
株式会社キューハウ 様
KOYO証券株式会社 様

コメット株式会社 様
株式会社サエキジャパン 様
株式会社サニクリーン九州 様
三建設工業株式会社九州支店 様
JR九州バス株式会社 様
株式会社新広告社 様
センゲージラーニング株式会社 様
株式会社総研 様
一般社団法人大学スポーツ協会 様
株式会社ダイニチ 様
大和証券株式会社福岡支店 様
有限会社タカミレンタリース 様
株式会社竹田商会 様
株式会社テクノ菱和 様
株式会社にしけい 様
西日本三建サービス株式会社 様
西日本シティT.T証券株式会社 様
株式会社西日本電機器製作所 様
西松建設株式会社九州支社 様

株式会社日本旅行福岡教育営業部 様
野村證券株式会社福岡支店 様
株式会社ファイブ 様
株式会社ファビルス 様
株式会社福岡中央銀行 様
公益財団法人福岡労働衛生研究所 様
株式会社ベストクリーンサービス 様
ベネックスソリューションズ株式会社 様
株式会社ホテルオークラ福岡 様
株式会社マサミ 様
丸善雄松堂株式会社 様
株式会社ミドリ印刷 様
株式会社ミナミ商事 様
メールソリューション・ジャパン株式会社 様
芳野測量設計株式会社 様
株式会社ライセンサアカデミー 様

他匿名5社様

団体

九州産業大学空手道部立禅会 様
九州産業大学後援会 様
九州産業大学準硬式野球部 様
九州産業大学造形短期大学部後援会 様
九州産業大学同窓会楠風会 様
九州産業大学同窓会楠風会関東地方本部有志 様

九州産業大学同窓会楠風会建コン支部 様
九州産業大学同窓会楠風会広島県地方本部たる募金 様
九州産業大学同窓会楠風会福岡市役所支部 様
九州産業大学同窓会楠風会福岡中央支部 様
学校法人中村産業学園退職者の会産楠会 様

「九産大古本募金」寄付者 ご芳名

[五十音順]

個人

秋山 優 様
池内 秀己 様
石川 泰成 様
石原 韶諒 様
石原 弘美 様
伊藤 弥生 様
井上 尚子 様
今坂 公宣 様
岡田 和枝 様

小倉 弘毅 様
金川 一夫 様
河内 真紀子 様
丘 華 様
黒木 宏一 様
櫻井 正行 様
渋谷 隆治 様
高田 雅隆 様
竹内 真由美 様

津上 晶子 様
辻 良成 様
Timothy Dean Keeley 様
永吉 由香理 様
芳賀 博文 様
橋本 忍 様
長谷川由起子 様
濱田 英隆 様
真木 圭亮 様

松尾 日菜乃 様
溝口 洋二 様
八鍬 加容子 様
山下 永子 様
李 泰勳 様
和田 勉 様

他匿名11名様

法人

株式会社九産大サービスセンター 様
株式会社九州日立システムズ 様

団体

九州産業大学キャリア支援センター 様
九州産業大学教務部 様
九州産業大学人間科学部 様

他匿名3団体様

「九産大自動販売機利用募金」寄付者 ご芳名

[五十音順]

法人

株式会社アベックス西日本 様
FVジャパン株式会社 様
九州アサヒ飲料販売株式会社 様
株式会社キリンビバックス福岡支店 様

コカ・コーラボトラーズジャパンホールディングス株式会社 様
サントリービバレッジソリューション株式会社 様
ジャパン福岡・ペプシコーラ販売株式会社 様
ダイドードリンコ株式会社西日本第二営業部 様

ダイナミックベンディングネットワーク株式会社 様
田辺ベンディングサービス有限会社 様
福岡ヤクルト販売株式会社 様

「現物寄付」寄付者 ご芳名

[五十音順]

法人

株式会社九州日立システムズ 様 有限会社クラブハウスこぼやし 様 有限会社日本電研福岡 様 日之出紙器工業株式会社 様

【令和6年度】

九州産業大学 テーマ募金

募集期間：令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日

本学園(九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部)の様々な教育・研究活動支援等へ活用させていただきます。
寄付者さまの意向に沿い、以下のテーマからお選びいただけます。

■募集種別

個人寄付 1口 5,000円

法人寄付 1口 50,000円

団体寄付 1口 50,000円

※寄付は任意でございますが、できましたら複数口のご協力をお願いいたします。

■ご寄付の申込方法について

本学園指定の振込票で

本学園指定の振込票に必要事項をご記入の上、下記の金融機関の窓口にてお振込みください。

ゆうちょ銀行

福岡銀行

西日本シティ銀行

インターネットで(クレジットカード等)

本学園募金専用ホームページからお申し込みいただけます。

WEBでのお申し込みはこちらから



教育 Theme 1	文芸芸が融合した多様な教育プログラムの推進	目標金額 1億1,400万円
産学連携 Theme 8	産学連携のさらなる推進	目標金額 400万円
教育 Theme 2	グローバル人材育成プログラムの推進	目標金額 2,000万円
ダイバーシティ Theme 9	ダイバーシティの推進	目標金額 400万円
研究 Theme 3	特色ある研究の推進	目標金額 2,200万円
社会・地域貢献 Theme 10	SDGs等、地域社会の課題解決プロジェクトの推進	目標金額 600万円
研究 Theme 4	多様な大学院生の獲得	目標金額 600万円
学生生活 Theme 11	奨学金制度による学生支援の充実	目標金額 7,400万円
国際交流 Theme 5	海外留学プログラムの推進	目標金額 2,000万円
Theme 12	寄付者による個別指定寄付	
課外活動 Theme 6	サークル活動の活性化	目標金額 600万円
Theme 13	指定なし	
就職 Theme 7	就職活動支援プログラムの推進	目標金額 4,000万円

※各テーマの目標金額を上回った場合は、本学園の教育・研究活動に活用させていただきます。
※ご入金後の使途変更は受付できませんので、ご注意ください。

個人の皆さま限定 寄付者座席芳名プレート

九州産業大学テーマ募金にご寄付いただいた方に「大楠アリーナ2020」観客席にご芳名を掲載したプレートを設置し末永く顕彰させていただきます。

募集期間 令和4(2022)年4月1日から満席になるまで

対象金額 期間中に5万円以上ご寄付いただいた方(募集期間内の寄付金累計)

対象席数 780席限定

受付方法 先着順(1申し込み1芳名)

※芳名プレートの座席配置は寄付受付順となります。

※対象の方には個別にお知らせいたします。

※デザインは変更になる場合があります。

※令和5(2023)年度芳名対象者におけるプレートの設置は完了いたしました。



芳名プレートイメージ



芳名プレート設置イメージ



アリーナ外観



アリーナ館内



ザマイン ホアンさん
商学部(ベトナム)

地元鹿児島が
大好きなので、
公務員になって
鹿児島を
元気づけたい!

西竹 雅仁さん
地域共創学部(尚志館高校)



尊敬する
建築家のもとで働き、
将来は自分の
建築設計事務所を
持ちたい!
海外進出も...



高倉 太地さん
建築都市工学部
(加世田高校)

日本で
ベトナムカフェを起業し、
将来的には
カフェをブランド化、
フランチャイズ展開して
店舗を増やして
いきたい!

これから応援よろしくお願いします!

学生からの決意表明

「初めての海外」
in 台湾に参加し、
初海外にして国際交流の
楽しさを知りました。
今後は海外ボランティアに参加して
経験を積み、建築の力で
発展途上国のインフラ整備に
携われるように
成長したい!



宮下 果奈さん
芸術学部(九州産業高校)

美術を通して、
生徒の視野を
広げられるような、
人生の中の選択肢を
ひとつでも増やして
あげられる
先生になりたい!



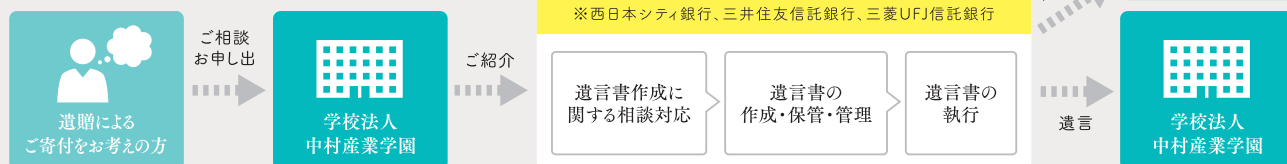
佐藤 智也さん
建築都市工学部
(糸島高校)



遺贈・相続財産によるご寄付

社会貢献や次世代を担う若者たちを応援したいというそのご意志を叶える選択肢のひとつとして、
遺贈・相続財産の寄付があります。本制度は**相続税が非課税扱い**となるなど、税制上の優遇措置を
受けることができます。

▶(例)遺贈によるご寄付の流れ



遺言書や相続、遺贈等について詳しくお知りになりたい方には、本学園提携銀行の
パンフレットをご用意しています。ご希望の方は本学園(右記)までご連絡ください。

募金担当
直通

☎ 092-673-5525

1年間の
取組み
2023



大学動画
ギャラリーへ



メルマガ
「九産大・メルマガ」
で検索



LINE
「@988iebil」
でID検索



学校法人中村産業学園

九州産業大学 九州産業大学造形短期大学部 総務部(募金担当)

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2丁目3番1号

TEL 092-673-5525 FAX 092-673-5599 E-mail kifu@ml.kyusan-u.ac.jp

個人情報の取扱いについて

募金にご協力いただきました皆さまの個人情報は、本学園募金事業に係る業務のために使用し、適正に管理いたします。



募金ホームページ

九産大募金

検索